

1 be 動詞

be 動詞には、いろいろな働きがあるが、その一つに「」と訳す働きのある be 動詞がある。この場合の be 動詞は、数学でいう「=」のイメージがあることを覚えておくと良い。

以下では、この場合の be 動詞の用法のみを扱う。

be 動詞の肯定文を作るときは、「be 動詞」という名前であるだけあって、動詞の役割をするので、基本的に主語の後に be 動詞をおき、その後に (人や物, 事, 生き物などの名前) や (人や物事の性質, 状態, 数量) を使う。

be 動詞の否定文を作るときは、肯定文の be 動詞の後ろに をつけば良い。

be 動詞の疑問文を作るときは、肯定文の be 動詞を の前に移せば良い。

be で聞かれたら be で答える。

1.1 1 人称の場合

主語が 1 人称単数 () の場合, be 動詞を be → と変化させる。

主語が 1 人称複数 () の場合, be 動詞を be → と変化させる。

1. 私は, Jim です。

2. 私は, Jim ではありません。

3. 私は, 幸せです。

4. 私は, 幸せではありません。

5. 私達は, 生徒です。

6. 私達は, 生徒ではありません.

7. 私達は, 元気です.

8. 私達は, 元気ではありません.

1.2 2人称の場合

主語が2人称単数()の場合,be 動詞を be→ と変化させる.

主語が2人称複数()の場合,be 動詞を be→ と変化させる.

1. あなたは, 野球選手です.

2. あなたは, 野球選手ではありません.

3. あなたは, 野球選手ですか.

4. あなたは, 暇です.

5. あなたは, 暇ではありません.

6. あなたは, 暇ですか.

7. あなた達は, サッカー選手です.

8. あなた達は, サッカー選手ではありません.

9. あなた達は, サッカー選手ですか.

10. あなた達は, 眠いです.

11. あなた達は, 眠くありません.

12. あなた達は, 眠いですか.

1.3 3人称の場合

主語が3人称単数()の場合,be 動詞を be→ と変化させる.

主語が3人称複数()の場合,be 動詞を be→ と変化させる.

1. 彼は, バスケット選手です.

2. 彼は, バスケット選手ではありません.

3. 彼は, バスケット選手ですか.

4. 彼女は、おもしろいです。
5. 彼女は、おもしろくありません。
6. 彼女は、おもしろいですか。
7. 彼らは、日本人です。
8. 彼らは、日本人ではありません。
9. 彼らは、日本人ですか。
10. 彼女らは、おなかが空いています。
11. 彼女らは、おなかが空いていません。
12. 彼女らは、おなかが空いていますか。

1.4 練習問題

1. 私たちは、バスケット選手です。

2. あなたは、とても良い料理人です.

3. あなたは、とても良い料理人ですか. はい, そうです. いいえ, 違います.

4. 彼は、バスケットボールのファンですか. はい, そうです. いいえ, 違います.

5. 私は、日本の出身です

6. 彼らは、日本の出身ですか. はい, そうです. いいえ, 違います.

7. 石橋は、私の友達ではありません.

8. これは、ふたつの消しゴムです.

9. これは、あなたの消しゴムですか. いいえ, 違います.

10. みゆきは、あなたのクラスメイトですか. はい, そうです. いいえ, 違います.

11. しゅんとジムは、良い友達ですか. はい, そうです. いいえ, 違います.

12. あれは、ひとつのりんごです.

13. それは、ひとつのみかんですか。はい、そうです。いいえ、違います。

14. それは、とても大きなみかんではありません。

15. 私とみかは、日本の出身ではありません。